講義名	自己発見とキャリア開発Ｂ(K32)					授業形態	
担当教員	白幡　俊輔	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 ２時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	FYE120

主題と概要

本授業は、本学が掲げる「夢の種プロジェクト」では、「探す」に位置づく教育プログラムである。さらに、夢の種を「探す」ための教育プログラムの中でも、基幹となるのが本授業である。
科目名にある通り，自分自身がどのような人間なのかを理解するために自らのアイデンティティに気づく(自己発見)、そして、今後の学びや将来自分らしく自立して生きていくために基盤となる能力を育成
・獲得する(キャリア開発)ことを目的とする。この目的を達成するために、以下の目標を設定し、目標達成の状況を適切な手法によって適宜評価する。
自己発見とキャリア開発Bは、「RYUKA Freshman Award 2025」と題して、社会課題に対してアッと驚くようなイノベーションを起こすアイディアを出し、コンペ形式で競うことを主たるプログラムとして設定している。

到達目標

本授業では、
「自己理解・自己発見領域」「人間関係形成」「情報活用」「問題発見・解決」の4つの領域に分け、関連する能力の育成を目指す。

提出課題

毎授業ポートフォリオを作成し授業の振り返りを行う。
また、各プログラムにおいて個人で、グループで作成した成果物を提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ポートフォリオを教員とやりとりすることで適宜フィードバックを行う。
また、各種成果物を作成する過程で教員と対話し、適宜フィードバックを受けながらより良い成果物の作成を目指す。

評価の基準

・ポートフォリオ　30%
・RYUKA　Freshman Award 2025　成果物　30%
・自己キャリBまとめ　成果物　30%
・ラインズドリル　10%

履修にあたっての注意・助言他

本授業は必修科目である。全15コマのうち4分の1（4コマ）欠席すると単位認定は行わないので注意すること。
また、授業資料の配布やポートフォリオの提出はTeamsを使い、データのやり取りを通じて行う。紙での資料配布・回収は行わないので、授業に持参できるノートPCやタブレットを保持している学生は授業に持ってくることを強く推奨する。
ノートPCやタブレットを保持していない学生は、メディアセンターを各自活用するなどして、課題の作成や提出を行うこと。
スマートフォンのみでは十分な学修成果を得ることはできない。
成果発表会または成果展示をりゅうか祭の場にて行う。通常授業日とは異なる曜日で授業が設定されているので注意すること。

教科書

・使用しない.

参考図書

その他

資料はTeamsを通して適宜配布する。

授業計画

第1回：自己キャリBガイダンスとチーム作り
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第2回：「RYUKA Freshman Award 2025」の準備（課題の整理）
【予習】身の回りにある課題について、その課題解決によってどのくらいの人が助かるか、課題解決に関するニーズに関して調べ、ポートフォリオに記入する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第3回：「RYUKA Freshman Award 2025」の準備（アイディアの整理）
【予習】課題解決の方法について、すでにある製品やアイディア等を整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第4回：「RYUKA Freshman Award 2025」の準備（ニーズの調査）
【予習】アイディアのニーズについて予想を立て、その内容を整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第5回：「RYUKA Freshman Award 2025」の準備（Go -No Goの確認）
【予習】これまでの活動を振り返り、このままのアイディアを進める（Go）のか、軌道修正する（No-Go）のかその判断となる理由を整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第6回：「RYUKA Freshman Award 2025」の準備（MVPの作成）
【予習】これまでの活動を振り返り、MVP（最低限の機能を持った製品）の作成に向けその設計図や準備に向けた考えを整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第7回：「RYUKA Freshman Award 2025」の準備（ピッチの準備）
【予習】これまでの活動を振り返りチームで考えたアイディアを整理しピッチにまとめる準備をする。その内容をポートフォリオに記入する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）、ピッチの作成（4時間）

第8回：「RYUKA Freshman Award 2025」の準備（ピッチの実施）
【予習】アイディアを整理しピッチにまとめる。その設計図をポートフォリオに記入し、ピッチを作成する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第9回：「RYUKA Freshman Award 2025」の準備（ピッチの改善）
【予習】ピッチを実施し、改善点を10個挙げ、その改善方法について整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）、最終ピッチの作成（2時間）

第10回：「RYUKA Freshman Award 2025」の準備（代表者選考会）
【予習】複数クラス合同でジグソー方を使ってピッチを実施するための準備をする。時間内に内容を伝え切ることができるようポイントの整理を行い、ポートフォリオに記入する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第11回：「RYUKA Freshman Award 2025」
【予習】選ばれたチーム、選ばれなかったチームそれぞれピッチの改善点を整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第12回：「先輩が語るキャリア」
【予習】本授業でのこれまでの学びが社会に出た時いつ、どこで、どのように役に立ちそうか整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第13回：自己キャリまとめ「将来の夢や目標と４年間の学びの計画の発表」の準備
【予習】自己キャリまとめの発表に向けてピッチを作成する。ピッチの設計図やアイディアについて整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第14回：自己キャリまとめ「将来の夢や目標と４年間の学びの計画の発表」（前半）
【予習】ピッチの作成（4時間）
【復習】本時の学びについてFIT（Fact Insight Try）の3観点で整理し、ポートフォリオに記入する（2時間）

第15回：自己キャリまとめ「将来の夢や目標と４年間の学びの計画の発表」（後半）
【予習】ピッチの作成（4時間）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業では全てのDPの基礎となる能力の育成を目指す。
特に、建学の理念と関連する「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材の育成に向け、様々な活動や経験を通して、社会に出て必要な能力の育成を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

課題（ポートフォリオや成果物）の提出、授業のフィードバックについては、Teamsを介してやり取りを行う。

実務経験の有無及び活用

備考